

平成26年度 事業報告  
(平成26年4月1日より平成27年3月31日迄)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 全国地芝居サミット:4月19日(土)、20日(日)

「第23回全国地芝居サミットin神戸」が、兵庫県神戸市北区の県指定重要有形民俗文化財「上谷上農村歌舞伎舞台」と国指定「下谷上農村歌舞伎舞台」に於いて以下の日程、内容で開催された。参加団体は、地芝居関係が20団体、他賛助・個人の全郷芸会員が多数参加。

4月19日(土) 13時～15時30分 会場:「上谷上農村歌舞伎舞台」

- 開会式
- 「子宝童謡夢物語」 甲録子たから歌舞伎
- 「岩清水正八幡大明神の舞(宿神)」 尾八重神楽保存会(宮崎県西都市)
- 「寿 鳴る神」 はことら座

16時30分～18時30分 会場:「六甲山ホテル」

- シンポジウム「郷土文化の復興と伝承」

リレートーク

地芝居の魅力 全国地芝居連絡協議会 議長 山口清文  
概略説明 神戸市北区役所まちづくり推進課 係長 池澤和之  
神戸の農村舞台 園田学園女子大学 名誉教授 田辺真人  
神戸の地芝居 神戸農村歌舞伎保存会 会長 加藤直子  
郷土文化と神楽 尾八重神社 宮司 中武貞夫  
総括 神戸農村歌舞伎保存会 副会長 生田浩  
山田の総鎮守の立場から 六条八幡宮 宮司 畠田明彦

- 懇親会

4月20日(日) 11時～15時30分 会場:「下谷上農村歌舞伎舞台」

歌舞伎上演

- 「白浪五人男」 体験講座修了生
- 「新口村」 箱登羅たから歌舞伎
- サミット宣言～次期開催地紹介
- 「寿式三番叟」 南光子ども歌舞伎クラブ(兵庫県佐用町)
- 伊勢音頭恋寝刃「古市油屋の場」 神戸すずらん歌舞伎
- 「人情斬文七元結」 濡つくし歌舞伎(大阪府大阪市)

(2) 全国地芝居サミット:11月29日(土)、30日(日)

「第24回全国地芝居サミットin魚沼」が、新潟県魚沼市の「魚沼市小出郷文化会館」に於いて以下の日程、内容で開催された。参加団体は、地芝居関係が19団体、他賛助・個人の全郷芸会員が多数参加。

11月29日(土) 13時30分～15時30分 会場:「魚沼市小出郷文化会館小ホール」

- 「やまびこ三番叟」 干溝歌舞伎保存会
- 開会式
- 基調講演「地域文化と伝統芸能」(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー 平野英俊
- 鼎談「伝統芸能・観光・食と文化振興」  
平野英俊((公社)全国公立文化施設協会アドバイザー)  
桜井俊幸((公社)全国公立文化施設協会事務局参与)  
三友泰彦((一社)魚沼市観光協会会長)

- 民俗芸能「松づくし」 今泉民俗芸能保存会

18時00分～19時30分 会場:「魚沼市地域振興センター」

- 交流会:地域の伝統芸能披露(太鼓、民謡民舞等)

11月30日(日) 9時30分～14時30分 会場:「魚沼市小出郷文化会館大ホール」

- 「やまびこ三番叟」 干溝歌舞伎保存会
- 盆踊り「大の阪」 大の阪の会

- 神楽「若宮八幡宮太々御神楽」 若宮八幡宮神楽保存会
- 義経千本桜「吉野山 道行初音旅」 塩沢歌舞伎保存会
- 子ども歌舞伎「白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場」 干溝歌舞伎保存会
- サミット宣言～次期開催地紹介
- 源平布引滝 二段目「義賢最後」 干溝歌舞伎保存会

(3) 全国こども民俗芸能大会:8月5日(火)

東京都新宿区の日本青年館・大ホールに於いて、「第16回全国こども民俗芸能大会」を開催した。

<内容>

全国の都道府県教育委員会の推薦団体から選考委員会で選出された様々な子どもたちの民俗芸能と在日の海外の子どもたちの民俗芸能の披露を行った。今年度は新たな試みとしてかつてこの大会に出演した、子ども達が青年となって活躍している2団体を招聘し、合計8団体の子どもたちが出演した。

<出演団体>

- ①北海道・東北ブロック兼復興支援枠 福島県南相馬市「鳥崎の子供手踊」 鳥崎子供手踊保存会
- ②関東ブロック 茨城県土浦市「田宮ばやし」 田宮ばやし保存会
- ③近畿・東海・北陸ブロック 愛知県豊田市「旭町の棒の手」 敷島こども棒の手(三河旭棒の手保存会)
- ④中国・四国ブロック 徳島県神山町「阿波人形浄瑠璃」 神山町立神領小学校学童保育所すだち座
- ⑤九州・沖縄ブロック 長崎県五島市「狩立オネオンデ」 狩立オネオンデ保存会
- ⑥青年団体(1) 秋田県由利本荘市「本海獅子舞番楽」 猿倉講中(第3回大会に出演)
- ⑦青年団体(2) 大分県由布市「庄内神楽」 庄内原神楽保存会(第5回大会に出演)
- ⑧在日海外団体 東京都豊島区「ミャンマーの民族舞踊」 モーウーパン

(4) 昭憲皇太后百年祭～郷土芸能奉納:4月5日(土)、6日(日)

平成26年4月11日は、明治天皇の皇后であらせられた昭憲皇太后が崩御されて百年目を迎えることから、明治天皇百年祭に引続いて郷土芸能の奉納を行った。今回は磐梯山噴火にあたり昭憲皇太后の御下命で日赤の災害救護活動が初めて行われた地であり、未だ東日本大震災で被害に苦しめられている福島県を中心に、岩手県、宮城県、の被災地で伝承されてきた郷土芸能を招聘し、今後の一日も早い復興を祈って、明治神宮で奉納し、広く一般にも公開した。

□開催期日:平成26年4月5日(土)、6日(日)

□会場:明治神宮社御殿前及び原宿前広場特設舞台

<出演団体>

- 「吉里吉里鹿子踊」 吉里吉里鹿子踊り保存会 (岩手県上閉伊郡大槌町)
- 「寺崎のはねこ踊」 寺崎はねこ踊り保存会 (宮城県石巻市)
- 「石井の七福神と田植踊」 石井芸能保存会 (福島県二本松市)
- 「山木屋太鼓」 山木屋太鼓 (福島県伊達郡川俣町)
- 「会津赤枝彼岸獅子」 赤枝青年会 (福島県耶麻郡磐梯町)
- 「標葉神社の浦安の舞」 標葉神社浦安の舞保存会 (福島県双葉郡浪江町)
- 「請戸の田植踊」 請戸芸能保存会 (福島県双葉郡浪江町)

(5) 天皇陛下傘寿奉祝のお催し「日本の民俗芸能」:7月13日(日)

天皇陛下が傘寿を迎えられたのをお祝いして、皇后さまの主催で天皇陛下傘寿奉祝のお催し「日本の民俗芸能」が、皇居内の桃華楽堂で開催された。両陛下をはじめ、皇太子ご一家や秋篠宮ご一家などの皇族方や宮内庁関係者などおよそ130名が全国各地の民俗芸能を鑑賞された。出演団体は以下のとおり。全郷芸はこの催しの舞台制作を行った。

<出演団体>

- 「江差沖揚音頭」(北海道) 江差沖揚音頭保存会
- 「津軽三味線」(青森県) 平野緑城、平野緑里
- 「会津磐梯山」(福島県) 会津喜多方祭囃子盆踊り保存会
- 「佐渡おけさ」(新潟県) 立浪会

- 「津和野弥栄神社の鷺舞」(島根県) 弥栄神社の鷺舞保存会
- 「阿波おどり」(徳島県) 阿波おどり振興協会・徳島県阿波踊り協会選抜連
- 「正調五木の子守唄」(熊本県) 五木の子守唄保存会・淀川つるよ
- 「安里屋ユンタとカチャーシー」(沖縄県) 花城英樹ほか

(6) かながわ伝統芸能祭「地芝居2015」:平成27年3月8日(日)

神奈川県事業として「神奈川県立青少年センターホール」において開催され、その舞台制作を行った。

<出演・演目>

- 町屋神社木遣囃子保存会 (横浜市金沢区)「木遣」「お囃子」
- 目久尻歌舞伎会 (綾瀬市)「戎詣恋釣針一釣女」
- 地芝居(歌舞伎)体験ワークショップ成果発表「浜松屋見世先の場」「稲瀬川勢揃いの場」
- 藤野歌舞伎保存会 (相模原市)「絵本太功記十段目 尼崎閑居の場」

(7) 三陸国際芸術祭2014

岩手県沿岸の気仙地域を中心に開催された郷土芸能とコンテンポラリーダンスの催事。東日本大震災被災地を開放することで、芸能に触れる機会がなかった人々を現地へ呼び込み、かつ芸能団体の発表の機会を作ることで、震災からの復興の契機となることを目的に開催された。また海外の芸能団体を招聘して共演することで、比較や交流を行った。このイベントは文化庁の国際フェスティバル事業で、主催は NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(京都府)。全郷芸は共催。

■メインプログラム

○オープニング「三陸みなと祭り」

期日・場所:8月16日(土)14時~20時半・岩手県大船渡市 越喜来中学校グラウンド

出演:浦浜念仏剣舞、金津流浦浜獅子躍、川原鎧剣舞、バリ舞踊/チョコルダ・アリット・アルタワン、ガムラン/トゥラン・ブーラン

○「気仙地方とアジア、芸能でつながる」

期日・場所:8月17日(日)14時~20時・岩手県陸前高田市 気仙大工左官伝承館

出演:小鯖神止七福神舞、金成百姓踊、たらじがね、田東剣舞、柿内沢鹿踊、うごく七夕森前組、広田御祝、バリ舞踊・ガムラン

○「三陸から世界へ」

期日・場所:8月23日(土)13時~21時・岩手県大船渡市碁石海岸キャンプ場

出演:〈昼の部〉門中組虎舞、鶴住居虎舞、根白虎舞、大槌虎舞協議会、碁石七福神、バリ舞踊パロンドンダンス(インドネシア)、韓国農楽(韓国・高敞)

〈夕方の部〉前田鹿踊、永浜鹿踊他

〈夜の部〉コミュニティダンス、韓国農楽、金津流獅子躍大群舞(金津流獅子躍全9団体:金津流石関獅子躍・金津流梁川獅子躍・金津流伊手獅子躍・金津流軽石獅子躍・金津流野手崎獅子躍・金津流浦浜獅子躍・金津流松山獅子躍・金津流横浜獅子躍・丹内金津流獅子躍)、バリ舞踊・ガムラン

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 伝統文化継承フォーラム:8月5日(火)・6日(水)

5日:日本青年館大ホールにおいて開催された「第16回全国子ども民俗芸能大会」のリハーサルを星野氏の解説付きで見学、その後公演を鑑賞した。

6日:指導者研修会「第2回伝統文化継承フォーラム」を日本青年館中ホールに於いて開催した。

<内容> 基調講演 「子どもは元気だ 祭りに生きている」 講師:芳賀日出男(写真家)

- 事例発表
- ①「本海獅子舞番楽」 秋田県由利本荘市  
本海獅子舞番楽伝承者協議会 幹事 高橋建
  - ②「烏崎の子供手踊」 福島県南相馬市  
烏崎子供手踊保存会 事務局長 烏中清

③「岩井地区の伝統文化」 鳥取県岩美町

岩井地区伝統文化子ども教室 代表 松本光義

④「庄内神楽」 大分県由布市

庄内原神楽保存会 事務局長 長尾郁

パネルディスカッション 「世代間交流でつなぐ～ふるさとの伝統文化」

◎コーディネーター:久保田裕道 (東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長)

○パネラー : 柁原 年 (目黒区立東根小学校教諭)

齊藤 裕嗣 (東京文化財研究所客員研究員)

○アドバイザー : 小島 美子 (国立歴史民俗博物館名誉教授)

田村 学 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

(2) 「伝統芸能アウトリーチ事業」 研修会:2月11日(祝・水)・2月28日(土)

青葉の森公園芸術文化ホール(千葉県千葉市)では「地域の文化・芸術活動助成事業」(一般財団法人地域創造)の助成を受け、県内のホール担当者や伝統芸能普及団体が、民俗芸能に触れる機会を創出するための「アウトリーチ」活動を始めるにあたっての研修会を開催した。今回の主目的は「小学校への地域・民俗芸能のアウトリーチの提案」であった。全郷芸は、プログラムの提案とコーディネートを行った。

<2月11日・内容>

○基調講演 「民俗芸能とは～学校教育の素材として～」

講師:久保田裕道(東京文化財研究所無形文化遺産部民俗文化財研究室長)

○事例発表 ①「佐原囃子」の学校教育における活動事例について 千葉県香取市

香取市立佐原小学校 教諭 蛭川俊之

②「北之幸谷の獅子舞」 千葉県東金市

北之幸谷獅子連 片岡弘好

③「民俗芸能を習うということ-岩手県の民俗芸能を事例として」

公益社団法人全日本郷土芸能協会 事務局次長 小岩秀太郎

○パネルディスカッション「地域の芸術文化団体が学校に対し地域・民俗芸能への取り組みを提案するには」

<2月28日・内容>

○実演・解説・体験ワークショップ 「北之幸谷の獅子舞」 北之幸谷獅子連 片岡弘好

○研修者のアウトリーチプランの作成・発表

○パネルディスカッション 「学校に対する地域・民俗芸能プランへの意見交換、総括」

(3) 東日本大震災郷土芸能復興支援プロジェクト

平成23年3月11日の東日本大震災によって甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の東北3県を中心として、被害を受けた郷土芸能の復興のための支援プロジェクト事業として、広く一般に支援金を募り、指定文化財の有無に関らず支援を行った。支援金の配賦などについては、郷土芸能復興支援プロジェクト委員会を設置して決定した。

< 郷土芸能復興支援プロジェクト委員会 >

委員長 中嶋 春洋 (公益社団法人全日本郷土芸能協会理事長)

副委員長 城井 智子 (公益社団法人全日本郷土芸能協会専務理事)

委員 久保田裕道 (東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長)

委員 笹生 昭 (公益社団法人全日本郷土芸能協会常務理事)

委員 星野 紘 (東京文化財研究所名誉研究員)

委員 森下 春夫 (公益社団法人全日本郷土芸能協会常務理事)

○平成26年度復興支援プロジェクト受取寄附金合計 73, 249円

◇第5次「活動支援プログラム」助成

応募期間:平成26年3月24日～4月25日

申請数:5件 採択数:5件 内1件辞退(290, 000円)

◇第6次「活動支援プログラム」助成

応募期間:平成26年7月22日～9月26日

申請数:2件 採択数:2件(100, 000円)

◇第3次「次世代継承支援プログラム」助成

助成数:1件 100,000円(第16回全国こども民俗芸能大会復興支援枠)

3. 情報の収集及び提供

(1) 情報収集及び提供

ホームページは、主たる事業内容が確定次第に更新。平成26年7月、12月

(2) 会報発行

第75号から第78号まで発行した。

○第75号 平成26年 4月15日 発行(24頁)

○第76号 平成26年 7月25日 発行(24頁)

○第77号 平成26年10月20日 発行(24頁)

○第78号 平成27年 1月15日 発行(24頁)

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ」

郷土芸能の上映会とそのインターネット配信を通じて、日本全国の地域コミュニティと密接に結びついている「郷土芸能」を若い世代を中心に発信し、郷土芸能に接する機会を広げることで、理解を深めサポートする層の増進を図ることを目的として開催した。

□開催日時: 奇数月第2水曜日の19時～21時

5月7日、7月9日、9月10日、11月12日、3月17日

□会場: 全郷芸事務所

(4) 「無形文化遺産情報ネットワーク」: インターネットにて情報の発信

一般社団法人儀礼文化学会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所、独立行政法人防災科学技術研究所の4団体が協働して立ち上げた「無形文化遺産情報ネットワーク」におけるデータベース(HP)について、東日本大震災で被災した郷土芸能や祭礼の情報、支援情報の更新作業を行った。

4. 出版物の発行

全郷芸編「日本の祭り文化事典」(発行: 東京書籍)の普及を行った。

5. 国際交流

国際交流事業の開催に向け調査研究を行った。

6. 顕彰

6月14日(土)の平成26年度総会において、入会5年継続の団体会員11団体と、10年継続の団体会員7団体に感謝状を贈呈した。また、郷土芸能の保存振興に尽力された5名の個人に特別表彰を行った。

7. 調査研究

(1) 文化庁平成26年度「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」報告書作成業務として「田子神楽」「篠原踊」の2件について現地調査を行い、調査報告書としてまとめた。

(2) 文化庁平成26年度「無形文化財『わざ』の理解促進事業に係る芸能記録の内容確認及びデジタル化」事業の内容確認の監修についてビクターアドバンスメディア(株)より委託を受け監修を行った。

(3) 東日本大震災の被災地を含め全国の郷土芸能に関する現状について調査を行った。

## 平成26年度事業報告の付属明細書

### 1. 役員等に関する事項(平成27年3月31日現在)

<理事> 定数 14人～20人 任期 2年 現在数 常勤 3人 非常勤 15人	<監事> 定数 3人以内 任期 4年 現在数 常勤 0人 非常勤 2人
---	---

役職名	氏名	常/非常勤	任期	現職名(元職名)	当初就任日
理事長	中嶋春洋	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	元国際交流基金常務理事	平成9.6.7
専務理事	城井智子	常勤	平成25.6.8～27.6.7	(公社)全日本郷土芸能協会専務理事	平成7.5.24
常務理事	佐久間昭	常勤	平成25.6.8～27.6.7	(公社)全日本郷土芸能協会常務理事	平成7.5.24
常務理事	中坪功雄	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	(一社)日本イベントプロデューサー協会参事	平成7.5.24
常務理事	森下春夫	常勤	平成25.6.8～27.6.7	(公社)全日本郷土芸能協会常務理事	平成9.6.7
理事	大住恭三	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	(有)ソフト21社長	平成23.6.18
理事	小田日出男	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	有田神楽団代表	平成7.5.24
理事	菅原晃	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	鬼柳鬼剣舞保存会庭元	平成25.6.8
理事	瀬沼亨	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	八王子車人形家元	平成11.6.12
理事	高橋裕一	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	獅子博物館館長	平成23.6.18
理事	新沼裕道	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	東京文化財研究所無形民俗文化財研究室長	平成25.6.8
理事	橋本治夫	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	京都中堂寺六齋会顧問	平成9.6.7
理事	藤原澄男	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	高津神楽社中顧問	平成23.6.18
理事	星野紘	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	東京文化財研究所名誉研究員	平成23.6.18
理事	松田満夫	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	歌舞劇団田楽座代表	平成25.6.8
理事	円尾安子	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	さぬきばやし保存会家元	平成25.6.8
理事	宮本芳彦	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	(株)宮本卯之助商店社長	平成25.6.8
理事	山口清文	非常勤	平成25.6.8～27.6.7	全国地芝居連絡協議会議長	平成21.6.20
監事	小泉雄嗣	非常勤	平成23.6.20～27.6.19	良公税理士法人 税理士	平成7.5.24
監事	星野敬太郎	非常勤	平成23.6.20～27.6.19	上三原田歌舞伎舞台伝承委員会事務局長	平成21.6.20

### 2. 職員に関する事項(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	常/非常勤	就任年月日	担当事務	備考
職員	小岩秀太郎	常勤	平成16.11.8	一般事務	

### 3. 会議に関する事項

#### (1) 社員総会に関する事項

定款第4章第15条に基づく社員総会の報告

平成26年度定時社員総会

期日:平成26年 6月 14日(土)

会場:日本青年館 6階GR会議室

出席数:206名(委任状含む)／総数339名

議案	第1号議案	平成25年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	平成25年度収支決算の承認の件	可決
	報告事項1	平成26年度事業計画の件	報告
	報告事項2	平成26年度収支予算の件	報告

#### (2) 理事会に関する事項

定款第6章36条に基づく理事会の報告

##### ①平成26年度第1回通常理事会

期日:平成26年 6月 14日(土)

会場:日本青年館 6階GR会議室

出席数:14名／総数19名

議案	第1号議案	平成25年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	平成25年度収支決算の承認の件	可決
	第3号議案	新入会員承認の件	可決
	第4号議案	全国神楽協議会について	可決
	報告事項	業務執行理事の業務執行報告	報告

##### ②平成26年度臨時理事会

期日:平成26年 10月 4日(土)

会場:全郷芸事務所

出席数:11名／総数19名

議案	基本財産(土地、建物)の処分について	可決
----	--------------------	----

##### ③平成26年度第2回通常理事会

期日:平成27年 3月 14日(土)

会場:全郷芸事務所

出席数:10名／総数18名(松本茂雄理事、平成26年11月逝去)

議案	第1号議案	平成27年度事業計画	可決
	第2号議案	平成27年度収支予算	可決
	第3号議案	資金調達及び設備投資の見込みについて	可決
	第4号議案	事務所の移転について	可決
	第5号議案	平成26年度基本財産取崩について	可決
	報告事項	業務執行理事の職務執行報告	報告

#### (3) 業務執行理事会に関する事項

業務執行理事会の開催

第1回	平成26年	6月	9日(月)
第2回	平成26年	6月	23日(月)
第3回	平成26年	9月	16日(月)
第4回	平成27年	2月	20日(金)

#### 4. 社員の異動状況

社員種別	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在	増減数	摘要
団体会員	236	233	-3	
個人会員	102	111	9	
賛助会員	9	10	1	
ユース会員	0	2	2	

#### 5. 平成26年度後援名義使用承認事業

26全後第1号(平成26年 5月23日承認)

名称 第10回登米市民俗芸能大会  
 期日 平成26年 7月 6日(日)  
 主催 登米市民俗芸能協会

26全後第2号(平成26年 6月25日承認)

名称 地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会 NARITA」  
 期日 平成26年11月8日(土)～9日(日)  
 主催 一般財団法人地域伝統芸能活用センター、千葉県成田市

26全後第3号(平成26年 6月25日承認)

名称 第41回鳥海獅子まつり  
 期日 平成26年 8月16日(土)  
 主催 由利本荘市、由利本荘市教育委員会、鳥海郷土芸能保存会、本海獅子舞番楽伝承者協議会

26全後第4号(平成26年 7月14日承認)

名称 「ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！第2回 津軽笛博覧会」  
 期日 平成26年9月21日(日)  
 主催 津軽笛地域づくり実行委員会

26全後第5号(平成26年 7月23日承認)

名称 「れきみん秋祭り2014 -伝統のリレー、かっこいいね東北-」  
 期日 平成26年 10月 25日(土)ならびに11月 3日(月・祝)  
 主催 仙台市教育委員会、公益財団法人仙台市市民文化事業団

26全後第6号(平成26年 8月 8日承認)

名称 第26回「民俗芸能と農村生活を考える会」  
 期日 平成27年 2月 7日(土)  
 主催 一般社団法人全国農協観光協会

26全後第7号(平成26年 8月20日承認)

名称 日立市・十王町合併10周年記念事業 第24回 ひたち秋祭り～郷土芸能大祭  
 期日 平成26年 10月11日(土)～10月12日(日)  
 主催 公益財団法人日立市科学文化情報財団  
 理事長 赤津 敏明 殿

26全後第8号(平成26年 8月20日承認)

名称 あきる野市民文化祭参加公演  
 期日 平成26年 10月 5日(日)  
 主催 秋川歌舞伎保存会

26全後第9号(平成26年 9月10日承認)

名称 子ども民俗芸能フェスティバル2014 『第5回 秋の子ども みちのく 芸能まつり』  
 期日 平成26年 11月 2日(日)  
 主催 北上市文化財活性化実行委員会

26全後第10号(平成26年 9月10日承認)

- 名称 第26回都筑太鼓公演  
 期日 平成27年 6月 13日(土)  
 主催 特定非営利活動法人 横浜都筑太鼓
- 26全後第11号(平成26年 9月10日承認)  
 名称 第40回江戸里神楽「松本源之助のすべて」  
 期日 平成26年10月20日(月)  
 主催 松本源之助社中
- 26全後第12号(平成26年 9月29日承認)  
 名称 『石山裕雅の会』第三節  
 期日 平成27年1月31日(土)  
 主催 石山裕雅社中
- 26全後第13号(平成26年10月 7日承認)  
 名称 奈奈子祭～花の陣～  
 期日 平成26年12月21日(日)  
 主催 奈奈子祭実行委員会
- 26全後第14号(平成26年 10月22日承認)  
 名称 第12回こども六斎教室成果発表会  
 期日 平成27年 1月 25日(日)  
 主催 こども六斎教室実行委員会
- 26全後第15号(平成26年 11月25日承認)  
 名称 鬼よ燃えろ！冬の<sup>みちのく</sup>芸能まつり part6  
 期日 平成27年 2月 8日(日)  
 主催 北上市文化財活性化実行委員会
- 26全後第16号(平成26年 11月25日承認)  
 名称 「乙女文楽 早春公演」  
 期日 平成27年 3月7日(土)・8日(日)  
 主催 公益財団法人現代人形劇センター
- 26全後第17号(平成26年12月24日承認)  
 名称 「マツリクロッシング」公演  
 期日 平成27年 2月21日(土) 22日(日)  
 主催 Matsuri Crossing プロジェクト実行委員会
- 26全後第18号(平成27年 1月26日承認)  
 名称 第17回全国子供歌舞伎フェスティバルin小松  
 期日 平成27年 5月 4日(月祝) 5日(火祝)  
 主催 石川県、小松市、全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松実行委員会、  
 小松商工会議所全国子供歌舞伎フェスティバルin小松
- 26全後第19号(平成27年 3月 6日承認)  
 名称 創立50周年記念作品「まつり芸能楽 信濃」  
 期日 大阪公演 2015年 5月16日(土)  
 飯田公演 2015年 7月 5日(日)  
 主催 大阪公演 田楽座大阪公演実行委員会 50周年公演やりました会  
 飯田公演 みんなで田楽座をみまい会
- 26全後第20号(平成27年 3月13日承認)  
 名称 ふるさと発見！！第1回「里神楽を楽しむ会+α IN 新座」  
 期日 平成27年 7月 11日(土)  
 主催 武州里神楽「石山社中」